

国際ロータリー第 2550 地区 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: マーク・ダニエル・マローニー
第 2550 地区ガバナー: 川嶋幸雄
事務所: 〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL: 028-651-2550
FAX: 028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



会長: 吉光寺政雄 幹事: 藤崎善隆
事務局: 宗教法人 日蓮宗 等覚院
代表役員住職 藤崎善隆
〒325-0045 那須塩原市高砂町5-41
TEL: 0287-62-0187 FAX: 0287-62-3947
E-mail: jusyoku@tougakuin.or.jp
例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2888回 吉光寺年度 第35回 会報 2020 6-17 司会 小野安正君

会長挨拶 吉光寺政雄会長



皆様こんにちは。暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

今月は四回の例会が組まれていまして、毎週挨拶をする機会があります。先輩会長の皆様から、「だんだん話すことがなくなってくるんだよね」と言われていたのが、身に染みて感じる次第です。

昨年の今頃、当時の村山会長、植竹幹事が、ニコニコしていたのをうらめしく思っていたのを思い出します。

さて、本日は少し思うところをお話させて頂きます。弊社のトイレに、徳川家康公の遺訓が貼ってあります。これには、怒りは敵と思え、と書いています。織田信長公、豊臣秀吉公と同じ時代に、先人の二人が倒れた後、家康公に天下が回ってきたわけです。同じ時代に生きた家康公が、このような言葉を残したことに、含蓄を感じます。

私も仕事などでイライラしても、怒りは敵と思え、と自分に言い聞かせて精進したいと思います。

本日もどうぞ宜しくお願い致します。

議勉強会開催についての案内が参りましたので回覧しております。



2. 会計の未払いの領収証等お持ちの方は来週までに必ず処理をお願いいたします。
3. ガバナー事務所より国際奉仕アンケート結果送付について案内がありました。鈴木隆子国際奉仕委員長へ転送いたしました。

委員会報告 荒牧明二副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

幹事報告 植竹一裕副幹事

(第26回幹事報告)

1. 森本ガバナーエレクトより、6月20日開催Web会

● 親睦委員会 委員長 井出法君

出席報告 出席委員会 秋葉秀樹君

(出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 6月17日	37 (7)	30 (3)	7 (4)	90.9%		
前回 6月10日	37 (7)	32 (5)	5 (2)	91.4%	1	94.2%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

親睦委員会の井出でございます。来週6月24日でございますが夜間例会となっております。例会終了後に懇親会を予定しております。今のところ18時30分点鐘となっております。出欠に関してですが本日中に、私より皆様あてにメールにて連絡しますので欠席の方はご返信願います。



コロナ禍のなかの懇親会となりますが、十分に予防を図りながら、少し窮屈とはなりますが、このような状況の中、ご理解願いたいと思います。

● 次年度幹事 秋葉秀樹君



次年度幹事よりご連絡申し上げます。本日例会終了後に大島年度、理事役員会を開催しますので参加宜しく願います。

● 次年度第1グループガバナー補佐 秋間忍様



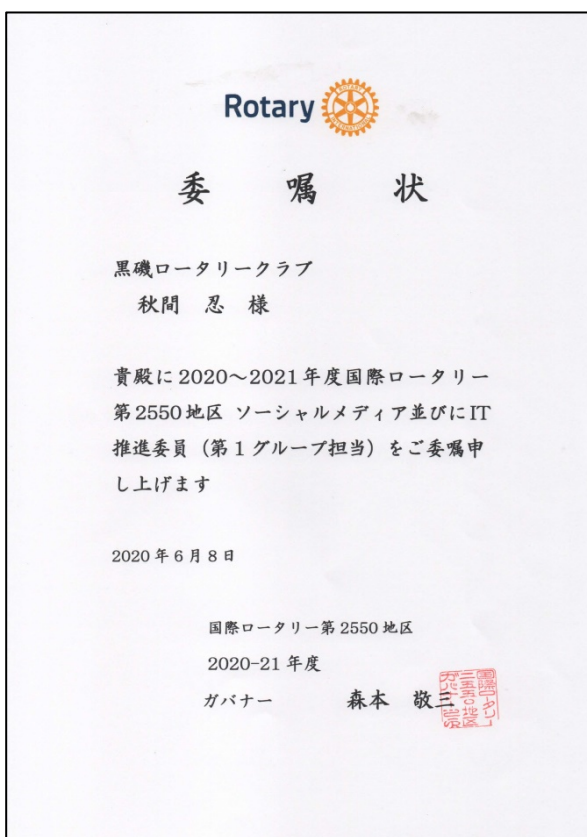
次年度第1グループのガバナー補佐を仰せ付けました秋間 忍です。

森本敬三ガバナーエレクトからも案内がありました通り、年度末までにおこなわれる研修セミナーや、その他の行事をオンラインで行うことが強く奨励されております。

このような状況下、不肖私が新たに「地区ソーシャルメディア並びにIT推進委員(第1グループ担当)」を拝命することになりました。

早速、今週の土曜日(6月20日)宇都宮市東図書館で地区リーダーのためのweb会議勉強会が開催され及ばずながら、そこでZoomミーティングの講師を務めることになりました。

皆様のご理解、ご協力ほどよろしくお願い申し上げます。



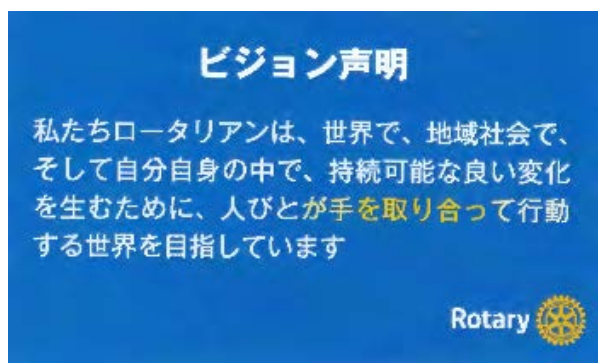
● 次年度会長 大島三千三君



皆さんこんにちは。先ほど皆様に配布しましたカード、ビジョン声明。次年度ガバナーから皆様へ

届けたいとのことでお配りしました。

これをキーワードに魅力あるクラブ活動を推進願います。宜しくお願いします。



😊 ニコニコボックス 佐藤博君



村山茂君 少し早いのですが暑中お見舞い申し上げます

秋間忍君 過去と他人は変えられない

高木茂君 5月の誕生祝い、有難うございます

植竹一裕君 ノルマ達成です

小野安正君 特になし

🌟 卓話 年度総括 会長・幹事・副会長

● 吉光寺政雄会長

改めまして皆様こんにちは。年度総括として、この一年を振り返りたいと思います。

9月13日から16日まで、大島副会長にお世話になりまして、消防自動車寄贈式にタイ国のロータリークラブに行って参りました。地元クラブの盛大な歓待を受け、楽しく過ごして参りました。

10月2日、川嶋幸雄ガバナーをお迎えしガバナー公式訪問を実施致しました。その際、瀧田雅仁会員が川嶋ガバナーからバッチを授与され、大変晴れやかな公式訪問になったと思います。

12月のクリスマス家族会では、井出親睦委員長、片田支配人にお世話になり、会員ご家族で100名を越える会を開催できました。大島年度におきましても、会員の皆様ご家族総出で、クリスマス会に限らずですが、親睦行事を盛り上げて頂きたいと思っています。

年末は、福田逸男会員が体調を崩されて入院したと聞き、お見舞いに伺いました。思いのほか、ご本人はお元気で、「年始は息子たちと日本酒を飲むんだ」と言っていたところ、数日後に他界されました。クラブ在籍40年を越える、クラブの功労者であり、ロータリーの集いを楽しんでいた、模範と言える会員でした。改めて福田逸男様のご冥福をお祈りする次第です。

3月～5月の3か月間は、コロナウィルス感染症のため、休会となりました。

この間は、藤崎幹事や理事役員の皆様と、いつ再開するか、また再開した場合は、どのような形式をとるか、また奉仕団体として、何かできることはないか、といったことを相談させて頂きました。気分的には、普通に例会をしている方が楽だなー、と思いつつながらジリジリと焦りを感じながら過ごしております。

6月から通常通りの例会が開催でき、ホッとしたところ、一年が終わってしまいました。

ある先輩会長から以前、「よくやっても一年、まずくやっても一年」という話を聴きましたが、何もせずに一年を過ごしてしまったと、後悔と反省の気持ちです。

きたる、大島三千三年度におきましては、皆様のご指導ご協力をお願い申し上げまして、年度総括とさせて頂きます。

一年間の皆様のご指導、ご協力に改めてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

● 藤崎善隆幹事

吉光寺会長の下、1年間幹事を務めさせて頂きました藤崎です。私がロータリーに入会致しまして拝見しました幹事のお姿は、植竹幹事・稲垣幹事・植竹幹事の三人？いや、お二人でございました。植竹幹事の滑らかな口調、稲垣幹事の緻密さなどを

参考に何とか務めさせて頂きました。植竹幹事は「幹事は縁の下の力持ち」「クラブ運営の潤滑油」と仰っていたことを思い、何とか陰で支えてスムーズに運営できるよう心がけて参りましたが、よく考えると力持ちの「力」が果たしてあったのか、アブラは腹に着いているけれども、滑らせるのは口の方になってしまっていなかったかと反省しきりであります。

幸い吉光寺会長のご指導の下、理事役員の皆さまをはじめとしてクラブ会員の皆さまのご協力をいただきここまで務めることが出来ました。諸事不手際やご不便をおかけしたかと存じますが、皆さまには心より感謝申し上げる次第です。また、職業柄どうしても急の欠席があり得る旨、年度初めより会長よりお話し頂きましたが、個人的には調整すれば無欠席出来るという具合に考えておりました。ところが今年度中はどうしても調整のつかない状況が何度もあり、結果植竹副幹事に5回、稲垣副幹事2回代行をお願いすることになってしまいました。むしろ幹事になる前の方の出席率が良い状況でございまして、皆さまにお詫び申し上げますとともに、何よりも植竹・稲垣両副幹事さまに改めて御礼申し上げます。ごさいます。

さて、年度内を振り返りますとやはり新型コロナウイルスの影響があまりにも大きなものとなっていました。3ヶ月にわたる例会の中止は、クラブ始めて以来のことと思います。この間、ガバナー事務所のみならずRI日本事務局やロータリーの友社なども時間短縮・自宅勤務などへの業務変更がなされ、手探りの中での運営となりました。休会期間中のやりとりにつきましては、6月3日例会にてご報告させて頂いたとおりですが、急に会合が持てない状況となり、理事役員の皆さまには主にメールにて連絡を取らせて頂くこととなりました。オンラインでの会合につきましては、定款には記述があるものの細則に記述がなく、本日細則の改正がなされたところでございます。直接顔を合わせてお話すればすぐ済むことが、電子メールの性質上どうしてもタイムラグが発生し、また複数の方が同時に意見交換することも難しく大変もどかしく感じました。最終的にはZoomの利用により、画面上での対面が可能になりましたが、全ての方の参加にはまだハードルがありました。今後黒磯クラブにおきましても危機管理の観点上、直接の会合が叶わない状況にどう対処するべきか、事前にルール作りをするとともに、その手段につきましても研修などを通して共有していくべきと強く感じた次第です。もちろん、機器の操作やセキュリティの問題に不安を感じる方もおおいかなと思いますので、迅速性の中にも慎重に進めていくべきと思います。

この休会期間中、4月に下野新聞社より「しもつけの御朱印」の取材を頂きました。確か14日にお越し頂き、22日に掲載されたように記憶しております。本来であればニコニコボックスにも大金を投入して自慢するところですが、いかんせん休会中、しかも国の緊急事態宣言に加え、市の非常事態宣言も

出される中で、寺では「御朱印お渡し中止」の張り紙を出させて頂くような事態になりました。足を運んで下さった方には大変申し訳なく思っております。私どもの所謂「御朱印」には「南無妙法蓮華経」とお題目を書いて「御首題」と呼ぶのが一般的です。私はそのお題目に沿って「我深敬汝等(がじんきょうによとう)不敢輕慢(ふかんきょうまん)所以者何(しよいしゃが)汝等皆行菩薩道(にょとうかいぎょうぼさつどう)當得作佛(とうとくさぶつ)」と書いています。これは常不輕菩薩という、お釈迦さまの前世の菩薩が全てのものに佛になる種を觀て敬いの態度を示した言葉です。人間は、追い詰められたときに「本性」をあらわします。このコロナの騒ぎの中で、いろいろな人々の姿が報道されたり、その報道そのものについても批判がなされたりと、テレビを觀るのも嫌になるような日々が続きました。私自身も、「あんなことをして！」と怒りを覚えるようなこともありました。そんなときにふと常不輕菩薩の言葉を思い起こし、相手を思いやることの大切さ、「あんなことを」と思いつつそこにはその人なりの理由があるのではないかと考えようと努める大切さをあらためて感じた次第です。

このコロナの騒ぎを「コロナ禍」という言い方がいつの間にか広まりましたが、私はこの言葉を好みません。確かに「わざわい」なのですが、それを「わざわい」にしてしまうのは私たち自身なのではないかと。「コロナ禍」という言葉を使うときにそれが固定されてしまうようで嫌なのです。病気になる、まして亡くなってしまうことは大変なことです。「わざわい」そのものです。でもそれだけで良いのか。そこから立ち直って前に進むとき、これが何か良い方向へ向けての契機に出来れば単なる「わざわい」ではなくなるのではないかなと思うのです。

戦後最大の危機といわれた世界を巻き込んだこの事態に、これまで見えなかった世界の人々の姿を垣間見ることになりました。そこから改めて相手を思いやり、敬いあうことの大切さを気付くことが出来れば、これは単なる「わざわい」ではなくなるのだろうと思っています。禍福はあざなえる縄の如し、であります。まだまだ、第2波・第3波もあるかとおもいますが、次年度もいろいろ苦労があるかと思いますが、お互いを気遣いながら、乗り切っていきたいと思います。

● 荒牧明二副会長

吉光寺年度副会長・クラブ奉仕委員長を仰せつかりました荒牧明二です。皆様には一年間大変お世話になりました。年度報告をさせていただきます。

始めに今年度は新型コロナウイルスの蔓延により、第23回(2月19日)より第32回(5月27日)まで10回の例会が中止になりました。各委員会で色々企画を立てて頂き、また外来卓話者の方にもご迷惑をお掛けしたと思います。五大奉仕委員会の報告も含みます。

6月3日に各委員長様から年度総括の報告が御

座いました。各委員長様有難う御座いました。その中の、いくつかの委員会報告をさせていただきます。

社会奉仕委員会は、安藤委員長を中心に社会奉仕の一環として昨年10月14日那須塩原駅周辺の清掃を会員19名インターアクト5名(須藤先生含む)で実施しました。そのあとの足尾植樹、那珂川水質調査は残念ながら中止となりました。

吉光寺会長は、年度目標に家族も楽しめる親睦行事の実施、会員増強1名を掲げておりました。親睦委員会は井出委員長中心に観月会、クリスマス家族会、新年会と企画を立てて頂きました。

クリスマス会には会員家族多数お呼び頂いて100名を超えるご参加を頂きました。例年大森会員はひ孫さん7名を引率して頂き会場を和ませて頂きました。大森会員は残念なことに今年度を持ちまして退会と言うことです。長い間ご苦労様でした。

職業奉仕委員会では、泉道夫委員長を中心に例年行われていた優良事業所訪問を取り止め優秀従業員表彰を行いました。厳正なる審査のうえ

黒磯新建材株式会社 人見勝利様
株式会社瀬尾本店 石川良子様
テクノ産業 高根沢英樹様
以上三名様が表彰されました。

会員増強委員会は、檜山副委員長、黒澤会員、村山会員のご尽力により瀧田雅仁さんが入会されました。また吉光寺会長、大島次年度会長の推薦で 寿し春 代表取締役 北島大輔様が7月の大島年度から入会することになりました。

国際奉仕委員会は鈴木隆子委員長を中心に昨年から継続のタイへ消防自動車贈呈をして頂きました。タイで行われた贈呈式には吉光寺会長、大島エレクト、秋葉会員、石山会員が参加して頂きご苦労さまでした。

青少年委員会は秋間委員長を中心に、昨年同様いろいろ企画をして頂きましたが、コロナウィルスの為ほぼ全ての企画を中止にする事になりました。インターアクトのメンバーが台湾国際交流に参加できずに残念がっていたそうです。

ロータリー財団委員会は、高木慶一委員長を中心に地区補助金を利用し「小学校低学年視力増進・小学校の英語学習の推進のため」の贈呈をして頂きました。

スマイルボックス委員会は平山委員長を中心に年間目標に向かってご苦労様でした。

会報委員会は高木茂委員長を中心に委員全ての、お力を結集して頂き例会の2日後には会報が皆さんに届く努力をして頂き有難う御座いました。

米山記念奨学会委員会は田中委員長をはじめ委員の皆様一年間ありがとうございました。

SAAは澤田委員長をはじめ委員の皆様一年間、例会運営をスムーズに進行して頂きありがとうございました。

会計は鳥居委員長をはじめ会計の皆様1年間ありがとうございました。

クラブ奉仕委員会は各委員長の皆様にお世話になり一年を送ることができました。感謝並びにお礼申し上げます。副会長として吉光寺会長を十分に支えられたか、自信はありませんが、こうして一年を迎えることが出来たのも皆様のお陰と感謝申し上げます。一年間本当にお世話になりました。

6月17日欠席(敬称略)
黒澤洋一・大森貞夫・瀬尾紀夫・荒井昌一
澤田吉夫・戸野俊介・和氣勝利

前回 6月10日分メイクアップ(敬称略)
鈴木久雄

次回例会

令和2年6月24日

担当 退任挨拶

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野いとう屋

0287-36-0028

○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月

0287-54-1105

○金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105

会報委員会：高木茂・稲垣政一・鳥居輝一・秋葉秀樹